

NEW CAMRY

Debut!

米国15年連続乗用車販売台数No.1

新たな上級ミッドサイズセダンに進化

新型カムリ誕生

トヨタのグローバルセダンとして世界で1800万台以上が販売されたカムリ。その9代目に当たる新型カムリは、TNGAに基づいてプラットフォームやパワートレーンなどすべてを一新。新世代のハイブリッドセダンにふさわしい性能と品格をあわせ持つクルマに生まれ変わった。伸びやかなスタイリングと質感の高いインテリアに加え、トヨタ・セーフティセンスPによる卓越した先進安全性能、最新のハイブリッドシステムが生み出すパフォーマンスと33.4km/ℓの低燃費など、あらゆる面で大きく進化。グローバル基準に見合う信頼性と耐久性に磨きをかけ、スタイリッシュなハイブリッドセダンとして新たなベンチマークとなる可能性は高い。その魅力に迫ってみよう。

TNGAに基づき全てを一新

最新の予防安全装備を設定



クラストップの
低燃費
33.4km/ℓ
Xグレード

重心で美しいデザイン

文/田畠修(モータージャーナリスト) 写真/トヨタ自動車



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351代表

トヨタ
新型
カムリ
特集号

100カ国以上の
国や地域で販売
2016年には累計販売
1800万台
突破!!

米国でナンバーワン、カムリの歴史

セリカのセダン版として、1980年にセリカ・カムリの名で誕生したトヨタ・カムリ。日本語の「冠」をモチーフとしたネーミングは、1982年にFF車となった「カムリ」に受け継がれ、トヨタのグローバルセダンとして世界でセールスを展開。素性の良さが各国で高く評価され、米国では15年連続(2002年~2016年)で乗用車販売台数トップという金字塔を打ち立てている。100カ国以上の国や地域で販売され、2016年には累計販売1800万台を突破。今も世界の道を走り続ける。ちなみに新型カムリはセリカ・カムリから数えると10代目、FF車となってからは9代目のモデルとなる。



NEW CAMRY

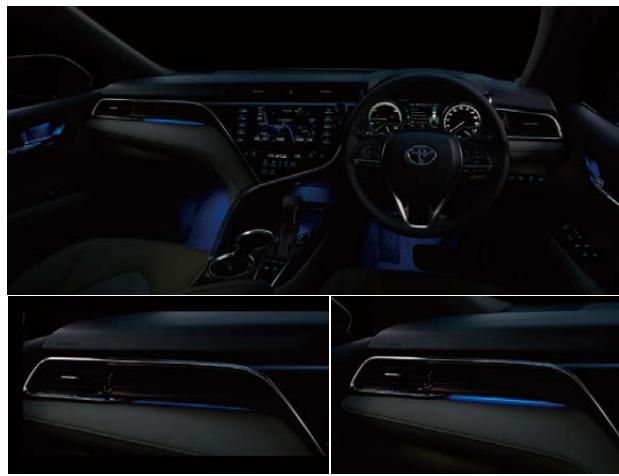
Debut!

G"レザーパッケージ" (シルバーメタリック)

Bi-Beam LEDヘッドライト

LEDリアコンビネーションランプ

イルミネーテッドエントリーシステム



助手席インストルメントパネルオーナメントイルミネーション
(左:減光時/右:フル点灯時)

■トヨタカムリ主要諸元表

グレード	ハイブリッド2WD		
G"レザーパッケージ"	G	X	
駆動方式	FF		
車両重量 kg	1,600	1,570	1,540
最小回転半径 m	5.9	5.7	33.4
燃料消費率 JC08モード km/ℓ	28.4		
エンジン型式	A25A-FXS		
エンジン総排気量 cc	2,487		
エンジン種類	直列4気筒 無鉛レギュラーガソリン		
使用燃料	131(178)/5,700		
エンジン最高出力 kW (PS)/rpm	221(22.5)/3,600~5,200		
エンジン最大トルク N·m (kgf·m)/pm	50		
燃料タンク ℥	3 N/M:交流同期電動機		
モーター型式/種類	202(20.6)		
モーター最高出力 kW (PS)	リチウムイオン電池/4.0		
モーター最大トルク N·m (kgf·m)	4,885×1,840×1,445		
動力用主電池種類/容量 A·h	2,825		
全長×全幅×全高 mm	1,580/1,585	1,590/1,595	1,600/1,605
ホイールベース mm	2,030×1,335×1,185		
トレッド フロント/リア mm	5		
最低地上高 mm	1,590/1,595		
室内 長×幅×高 mm	145		
乗車定員 名	2,030×1,335×1,185		
サスペンション フロント/リア	マクファーソンストラット式コイルスプリング/ダブルウイッシュボーン式コイルスプリング		
ブレーキ フロント/リア	ベンチレーテッドディスク/ディスク		
トランスミッション	電気式無段変速機		
タイヤ	235/45R18	215/55R17	205/65R16

オプション装着により数値が変わります。燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。使用環境、運転方法により異なります。詳しくは販売店にお問い合わせください。



走りを予感させるエクステリアデザイン&上級感を演出する内外装

低重心シルエットが走りを予感

粹でスタイリッシュなセダンへ進化した新型カムリ。低重心のシルエットはTNGA(トヨタ・ニュー・グローバル・アーキテクチャ)に基づき、エンジンの搭載場所や乗員の着座位置を見直したことで実現したもの。全長4885mm、全幅1840mm、ホイールベース2825mmの伸びやかなサイズと相まって美しいシルエットを形づけている。フロント回りはスリムなアッパークリアと大胆なロアクリアが存在感を示し、シャープな造形のLEDヘッドランプが全体を引き締める。ボディサイドは低いペルトラインがタイヤの存在感を強調し、グラマラスなボディの造形がクオリティの高さを物語る。ショートデッキスタイルのリアはクーペのような流麗なラインと、キレのあるデザインのリアコンビネーションランプが過ぎ去る姿を印象づける。走りを予感させるスポーティなデザインが魅力的だ。



パノラマムーンルーフ(チルト&スライド電動)

*TNGA=Toyota New Global Architecture

トヨタ自動車が全社を挙げてグローバルに取り組むクルマづくりの構造改革、パワートレーンユニットやプラットフォームなどを一新し、全体の最適化を図ることにより、クルマの基本性能や商品力を飛躍的に向上させることを目指す。



ダイナミックフォースエンジン2.5×ハイブリッドシステム

新開発プラットフォームによる意のままの走り

TNGA(トヨタ・ニュー・グローバル・アーキテクチャ)に基づく新開発プラットフォームの採用により、最適な重量バランスと低い重心高を実現。サスペンションはフロントが新開発のマクファーソンストラット、リアはダブルウィッシュボーンとしてロードホールディング性能を確保。これらの相乗効果により走行安定性は飛躍的に向上し、横揺れの少ない上質な乗り心地と、意のままに操れるハンドリングを高い次元で両立させている。さらにステアリングコラムの剛性を高め、ラック平行式電動パワーステアリングの採用により、操舵感も向上。ボディはレーザースクリューウェルディングによる溶接、構造用接着剤の使用などで剛性をアップ。液体封入式エンジンマウントの採用などによりワンランク上の静粛性を確保した。運転するのが楽しく、同乗者も快適に移動できるクルマに仕上げられている。

充実した安全装備

単眼カメラとミリ波レーダーを組み合わせ、最新の予防安全機能を持つトヨタ・セーフティセンスPを全グレードに標準装備。歩行者検知機能を持つプリクラッシュセーフティ機能に加え、車線からのハミ出し防止を支援するレーンディパーチャーアラート(ステアリング制御機能付き)、ヘッドライトの上下光を自動で切り換えるオートマチックハイビームも装備。レーダークルーズコントロールは全車速対応で追従機能も持ち、ロングドライブ時の疲労を軽減してくれる。また、駐車場などで後退するとき、左右後方から近づいてくるクルマを知らせるアラウンドソーラーフィックスアラートも設定され、全方向の安全性を確保。エアバッグはサイド&カーテンエアバッグに加えて運転席二エアバッグも備え、万一の衝突時も乗員を守ってくれる。



リアクロストラフィックアラート(RCTA)

クラストップの低燃費と動力性能を両立

新開発のダイナミックフォース2.5Lエンジン「A25A-FXS」にトヨタ独自のハイブリッドシステム「THS II」を組み合わせて搭載。4気筒2.5Lエンジンは直噴とポート噴射を組み合わせ、最大熱効率41%と高い燃焼効率により、低燃費と高出力を両立。電動モーターとの組み合わせたシステム出力は211PSに達し、ダイナミックフォースの名にふさわしいパフォーマンスを誇る。トランスミッションは電気式無段変速ながら、6速シーケンシャルシフトマチックによりマニュアルシフト感覚のドライビングも楽しめる。駆動用バッテリーは4.0Ahのリチウムイオンバッテリーを搭載。低燃費エンジンとモーターの連携によりJC08モード燃費は最高33.4km/ℓをマークする。



トヨタ・セーフティセンスPを標準装備



NEW CAMRY

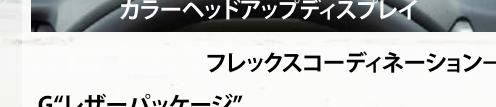
Debut!



G(エモーショナルレッド)

先進のインターフェイス

さまざまな情報を伝えるインターフェイスも操作感を高める工夫がなされている。カーナビゲーション、カラーHDMIディスプレイ、マルチインフォメーションディスプレイが相互リンクによって連携し、ドライバーの操作と視線の移動を最適化。ディスプレイ類から情報を得ながらも運転に集中できる環境を整えている。センタークラスター・パネルに置かれたカーナビゲーションと空調コントロールパネルは、滑らかなフラッシュユーザーフェーズデザインで高級感を演出。操作をスムーズにこなせるのはもちろん、質感の高さを感じさせる。センター・コンソールにはEVドライブモードスイッチや電動パーキングブレーキが置かれ、姿勢を崩さずに操作できる。



G "レザーパッケージ" (内装色:ベージュ(設定色)(オプション装着車))



スポーティなコックピット

高級感とスポーティ感を高いレベルで両立させたコックピット空間にも注目したい。TNGAに基づいてレイアウトを見直し、部品も小型化することでインストルメントパネルの厚みを抑え、広がりのある空間を実現。さらにエンジンフード、フロントカウル、ベルトラインを下げたことで広い視界を確保し、運転のしやすさに加え、高い視認性により安全性も向上させている。メーターはオブティカルの2眼タイプを採用し、オーソドックスなデザインのなかにもスポーティさを秘めてドライビングの楽しさをサポートする。本革巻きシフトノブの触感や、ステッチ入りシフトレバーブーツの風合いもよく、6速シーケンシャルシフトを駆使した走りも楽しめる。



G "レザーパッケージ" (内装色:ベージュ(設定色)(オプション装着車))

上級感を演出するインテリア

インテリアの仕立てのよさも新型カムリの大きな魅力だ。ダッシュボードからセンター・コンソールにかけての大膽な造形や、継ぎ目のない金属調の加飾に加え、素材や色を丹念にコーディネートした「フレックスコーディネーション」が優れたデザイン性の高さを感じさせる。宝石のタイガーアイをイメージしたパネル、あるいは寄木調のパネルがセンターコンソールやインストルメントパネルに配置され、シックな上質感を演出。落ち着いた雰囲気を醸し出している。各所に配されたサテンメッシュ調加飾やピアノ・ブラック加飾によるアクセントも効いている。後席シートバックは6対4分割可倒が可能で、ラゲッジルームを多用途に活用できるのも嬉しい。

EVドライブモードスイッチ

